



第三者機関の省エネ技術革新普及 における立場と役割

中国国際工程諮詢公司

朱黎陽

2017年12月24日



一、省エネ技術革新普及の重要な意義

★省エネ技術の中国省エネ・排出削減への貢献



ここ十数年間、中国は省エネ・排出削減分野で目覚ましい成果を上げた。

省エネ技術は省エネを推進する重要な手段として、エネルギー消費量の削減、エネルギー利用効率の向上への貢献率は60%以上に達し、中国の「十一五」と「十二五」省エネ目標の達成に替わることのできない重要な効果を発揮した。この方面では当社を代表とする第三者機関が重要な役割を果たした。



一、省エネ技術革新普及の重要な意義

★省エネ技術革新普及業務の重要な意義

省エネ技術革新普及業務は、省エネ・環境保護産業の発展と成長、高効率エネルギー体系の確立、グリーン発展の実現に重要な意義を有している。

省エネ産業の発展と成長

省エネ技術革新の推進

省エネ技術の応用の普及

⋮



二、第三者機関の地位と果たす役割

★第三者機関

中国政府は省エネ技術革新の普及業務における第三者機関の立場と発揮する重要な役割を非常に重視している。第三者機関は主に各種諮問機関、科学研究機関、業界団体及び産業連盟などを含み、様々な第三者機関がそれぞれの役割を果たしている。





二、第三者機関の地位と果たす役割



中国国際工程諮詢公司是独立した第三者諮詢機関及び国家発展改革委員会の重要なサポート会社として、国家省エネ計画及び政策研究、省エネ技術標準の制定、プロジェクト省エネ評価論証などの面で多くの仕事をしている。当社の省エネ方面での関連業務を踏まえ、第三者機関が省エネ技術革新普及において企業、政府、ユーザーに対して発揮する役割を説明する。

省エネ・排出削減政
策研究

グリーン省エネ計画
コンサルティング

省エネ低炭素技術
の普及

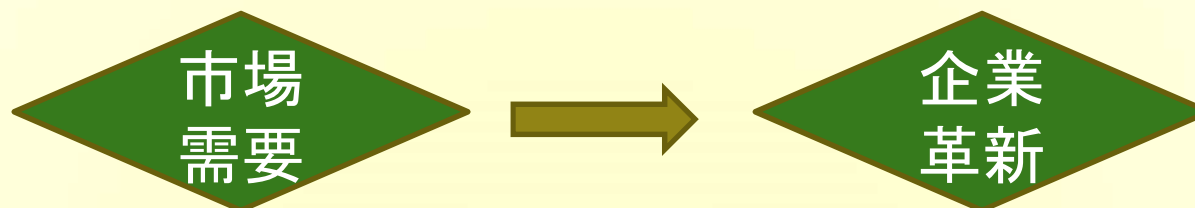
建設プロジェクト省
エネ評価



二、第三者機関の地位と果たす役割

★一、市場需要調査と統計を実施し、企業の省エネ技術革新に市場志向を提供する。

企業は省エネ技術革新の主体であり、業界団体、産業連盟などの第三者機関は業界情報の優位性を十分に発揮し、業界の省エネ需要情報統計を強化し、市場需要分析を展開し、速やかに市場需要を企業に伝え、産学官連携を強化し、市場需要を志向とする省エネ技術革新体系の確立を誘導する。

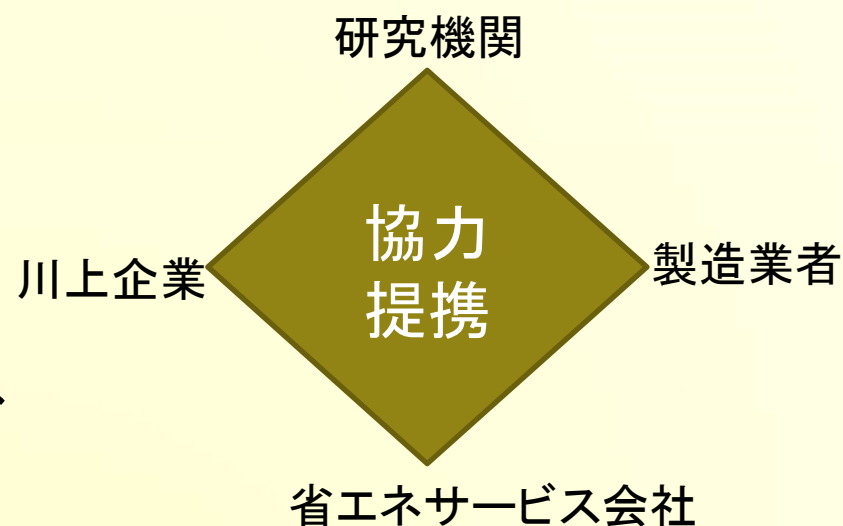




二、第三者機関の地位と果たす役割

★共同革新能力の構築を強化し、各方面の省エネ技術革新の協力展開を推進。

第三者機関の総合的優位性を発揮し、専門的な省エネ研究開発機関、製造業者、省エネサービス会社の川上・川下提携の強化を推進する。共通主要省エネ技術に関しては、各種イノベーション資源を結集し、技術標準提携、人材情報交流、知的財産権共有のイノベーションクラスターを形成し、省エネ技術革新成果の現実生産力への転換を加速する。





二、第三者機関の地位と果たす役割

★社会資金の投資を誘導し、企業の省エネ技術の普及と革新を促進

現在、省エネ技術革新と普及応用資金が不足し、投資が少ない中、もう一方では社会の様々な金融資本、遊休資金の良好な投資先が不足している。国家発展改革委の指導のもと、当社は関連企業、機関と共同で国家グリーン産業投資基金を立ち上げた。基金の規模は1000億元前後に定め、産業基金を設立することで社会資本を省エネ環境保護分野への投資に誘導し、企業資金ボトルネックを解決し、企業のグリーン技術革新普及の展開を促進することを目的とする。



当社と中国華信能源集団が国家省エネ環境保護基金などについて会談。



二、第三者機関の地位と果たす役割

★四、政府省エネ技術革新普及業務に支援を提供。

例：政府の関連政策の制定に参加し、市場メカニズム運用に適応した環境、財政、税収、金融などの政策体系と法律法規体系を確立し、企業のグリーン技術革新に良好な外部環境を作り出し、政策誘導、法律法規の拘束、制度管理など通じて企業グリーン技術革新を推進し、省エネ技術革新と普及体制を整備する。政府に先進省エネ技術を推薦し、現在の中国国内の普及率は高くないが、省エネ潜在能力は高い先進的で実用的な省エネ技術を推進し、徐々に国家重点普及支援の方向性とし、主要省エネ技術の急速な普及応用を実現する。



二、第三者機関の地位と果たす役割

★五、ユーザーに省エネ技術応用方面にてサービスを提供する。

業界団体、科学研究機関の技術優位性を発揮し、省エネ技術使用者への技術指導を強化する。コンサルティングの総合優位性を発揮し、従来の単項目の省エネ技術普及からユーザーへの全体省エネソリューションの提供に転換する。システムは各種省エネ技術を集約し、全体普及デモンストレーション効果を形成し、少ない労力で大きな成果を上げる。省エネ技術応用効果の第三者評価を積極的に展開し、契約型エネルギー管理、設備リースなどの市場化普及モデルを推進する。



省エネ技術現場調査と
技術指導活動



二、第三者機関の地位と果たす役割

★六、政府と企業、企業とユーザー間の架け橋の役割を果たし、力を合わせて共同で省エネ技術革新普及業務を推進する。

各業界団体及び産業連盟は、省エネ技術プロモーションの企画実施、省エネ技術普及フォーラムなどの各種イベントの開催を通じて、政府と企業、省エネ技術提供者とユーザーなどの各方面の交流の場を構築する。迅速に政府に業界全体の要望を伝え、省エネ技術企業とユーザー間の情報不均衡、交流手段が少ないなどの省エネ技術普及のボトルネックを解決し、先進的省エネ技術の応用と普及の推進加速を実現し、省エネプロジェクトの実施と省エネ市場の発展を促進する。



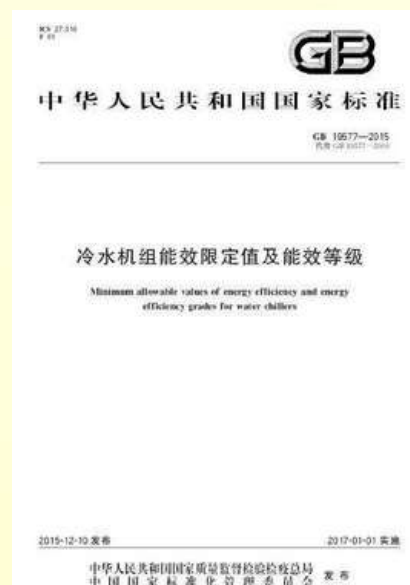
省エネ技術普及フォーラム



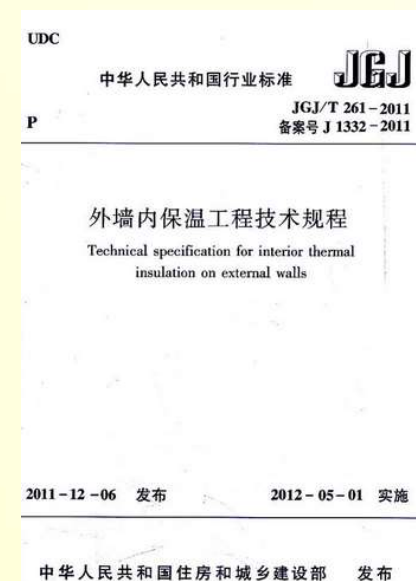
二、第三者機関の地位と果たす役割

★七、省エネ関連基準またはガイドラインを制定し、省エネ技術革新の普及を促進する。

2012年～2015年のわずか二期の「百項目エネルギー効率基準推進事業」は、206項目の国家省エネ基準を発布した。そのうち大部分の基準は業界協会、諮問機関、科学研究機関などの第三者機関が作成を主導または参加したものである。これらの基準の施行は、一方では基準の向上を通じてボトムアップ体制を形成し、省エネ技術の応用を促進し、もう一方では省エネ技術の応用を規範化、指導することで省エネ技術の革新を促進した。



設備エネルギー
効率基準



省エネ技術基準



二、第三者機関の地位と果たす役割

★八、新規エネルギー消費プロジェクトの省エネ論証に積極的に参加し、省エネ新技術の応用を促進。

2010年に中国が「固定資産投資プロジェクト省エネ評価制度」を実施して以来、新規エネルギー消費プロジェクトは省エネ審査を行うように明確に要求し、省エネ技術措置は重要な内容となった。現時点で、全国約60万件のプロジェクトが省エネ評価を完了している。第三者機関は新規エネルギー消費プロジェクト省エネ評価論証を行う主体として、プロジェクト評価過程にて大量の先進省エネ技術と設備の普及、使用することで、省エネ技術の新規プロジェクトでの定着を促進し、その省エネ効果は著しい。

当社の担当した2000件弱の新規固定資産投資プロジェクトの省エネ評価論証を例にとると、これらのプロジェクト累計総合エネルギー消費量は標準炭換算で2億万トン前後で、先進省エネ技術の普及応用を通じて、エネルギー消費量は標準炭換算で累計3000万トン以上削減した。





今後の展望

省エネ・排出削減の推進、グリーン発展の実現はすでに我々全人類の共通のテーマである。現在、技術革新は日進月歩であり、省エネ技術の進歩による世界の省エネ能力増強への貢献はますます大きくなっている。これが我々の省エネ技術革新の普及業務推進により高い要求を提起し、我々第三者機関に辞すことのできない使命を与えている。

当社は省エネ・排出削減分野の国家級シンクタンク型諮問機関として、日本側の各機関と緊密に提携し、交流を強化し、両国の省エネ技術普及応用の橋渡しとなり、適した提携モデルを模索し、双方が共に参加する省エネ技術革新普及のための第三者機関を作り、省エネ技術革新普及の国際プラットフォームを構築し、中日双方の省エネ新技術、新装備の「輸入、輸出」を促進し、省エネ技術革新普及業務をより高い水準に向けて推進していきたいと願っている。



メリークリスマス！
ありがとうございました！